

発議<1件>

○東北電力女川原子力発電所第2号機の稼働の是非に係る県民投票条例 [否決]

意見書<7件>

○新型コロナウイルス感染症対策に関する取組の強化を求める意見書
○免税軽油制度の継続を求める意見書 ほか

可決・承認した知事提出議案<102件>

○令和2年度宮城県一般会計予算
○令和元年度宮城県一般会計補正予算
○県道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例
○家畜伝染病予防法施行条例の一部を改正する条例
○食品衛生取締条例等の一部を改正する条例
○緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例 ほか

撤回した知事提出議案<1件>

○宿泊税条例

諮問<1件>

○退職手当支給制限処分に係る審査請求の諮問について [答申]棄却すべき

採択した請願<1件>

○免税軽油制度の継続を求める意見書提出に関することについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

議決した議案等



2月定例会の本会議

現施設の跡地利用に関する質問で、知事は「新施設の建設や機能移転、解体などに要する期間を考慮すると、10年程度先になる」と、10年程度先になること

質問者と主な質問項目

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について、宿泊税について

○一般質問(17人)
▽中島源陽(自民) 県政の基本姿勢について、豪雨災害対策について、次代に向けた農業振興について▽小畑きみ子(自民) 宮城県における少子化対策について、県民の疾病早期発見・早期治療について、アニキスの行政処分の見直しについて▽田中和廣(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について▽川口和典(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について、道のフリー化推進について

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

○一般質問(17人)
▽中島源陽(自民) 県政の基本姿勢について、豪雨災害対策について、次代に向けた農業振興について▽小畑きみ子(自民) 宮城県における少子化対策について、県民の疾病早期発見・早期治療について、アニキスの行政処分の見直しについて▽田中和廣(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について▽川口和典(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について、道のフリー化推進について

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

○一般質問(17人)
▽中島源陽(自民) 県政の基本姿勢について、豪雨災害対策について、次代に向けた農業振興について▽小畑きみ子(自民) 宮城県における少子化対策について、県民の疾病早期発見・早期治療について、アニキスの行政処分の見直しについて▽田中和廣(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について▽川口和典(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について、道のフリー化推進について

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

○一般質問(17人)
▽中島源陽(自民) 県政の基本姿勢について、豪雨災害対策について、次代に向けた農業振興について▽小畑きみ子(自民) 宮城県における少子化対策について、県民の疾病早期発見・早期治療について、アニキスの行政処分の見直しについて▽田中和廣(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について▽川口和典(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について、道のフリー化推進について

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

○一般質問(17人)
▽中島源陽(自民) 県政の基本姿勢について、豪雨災害対策について、次代に向けた農業振興について▽小畑きみ子(自民) 宮城県における少子化対策について、県民の疾病早期発見・早期治療について、アニキスの行政処分の見直しについて▽田中和廣(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について▽川口和典(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について、道のフリー化推進について

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

○一般質問(17人)
▽中島源陽(自民) 県政の基本姿勢について、豪雨災害対策について、次代に向けた農業振興について▽小畑きみ子(自民) 宮城県における少子化対策について、県民の疾病早期発見・早期治療について、アニキスの行政処分の見直しについて▽田中和廣(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について▽川口和典(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について、道のフリー化推進について

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

○一般質問(17人)
▽中島源陽(自民) 県政の基本姿勢について、豪雨災害対策について、次代に向けた農業振興について▽小畑きみ子(自民) 宮城県における少子化対策について、県民の疾病早期発見・早期治療について、アニキスの行政処分の見直しについて▽田中和廣(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について▽川口和典(自民) 新型コロナウイルス感染症対策について、道のフリー化推進について

新型コロナ感染を警戒

第371回宮城県議会(2月定例会)は2月12日から3月17日まで35日間の会期が開かれた。約1兆135億6000万円の令和2年度一般会計当初予算や、新型コロナウイルス感染症対策費を新たに盛り込んだ令和元年度一般会計補正予算など108議案を原案通り可決した。観光振興の財源確保策として導入を目指した宿泊税を巡って、県は提案した関連条例案を取り下げた。代表一般質問では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急対策をはじめ、県美術館と県民会館の移転・集約案、東日本大震災の復興などに関し、活発な質疑が交わされた。

知事「全庁的な体制整備」

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、議員からは対策に万全を期すよう求める意見が目立った。県内では2月定例会代表一般質問の期間中に、初めての感染者が確認された。議員は「県の初動体制や訓練、対策などの状況はどうか」と危

県美術館・県民会館

収束を見通せない状況となっている」と説明した。知事は「国に先駆けて新型コロナウイルス感染症対策本部を設置した。全庁的な体制を整えながら、収束までの期間中に、初めの感染者が確認された。議員は「県の初動体制や訓練、対策などの状況はどうか」と危

移転時期と費用ただす

仙台市青葉区にある宮城県美術館と、東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)を、宮城野区の仙台医療センター跡地に移転・集約する方針を巡っては、活発な議論が展開された。議員は「移転集約・複合化の想定スケジュールはどうか」と質問した。知事は「移転集約の方向性が固まった場合は、そこから7、8年程度の年数がかかる見込み」と両施設の想定スケジュールを説明した。

質問者と主な質問項目

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

質問者と主な質問項目

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

質問者と主な質問項目

○代表質問(3人)
▽高橋伸二(自民) 県政課 声援について▽坂下賢(自民) 県民の復興の経緯上げと県民の復興について、新型コロナウイルス感染症対策について

宿泊税条例取り下げ

県が導入を目指す宿泊税に際しては、各議員から新型コロナウイルスの影響や、新税導入の議論の進め方、税額などについて批判が続き、条例案を撤回するよう求める意見が相次いだ。議員は「風評被害が懸念される。導入見送りや施行延期を求める」と、県独自の救済策を示すべきだと提言した。知事は「元来、観光客が減少している中で、宿泊業者や資金繰りの悪化に対応するため、金利や保証料があるなど、観光客の負担軽減が重要な条件となる。県の制度融資やセーフティネット資金

台風19号被害で治水対策を要望

昨年の台風19号被害に際しては、治水対策の強化を求める意見があった。議員は「豪雨災害への備えが急務。河川整備の在り方を抜本的に見直し、総合的な対策を進める必要がある」との議員の提言に、知事は「河川・防災・気象などの有識者からなる今後の治水対策を協議する検討会を2月に設置した。9月を目途に治水対策の在り方を取りまとめる」と説明した。「河川の浸水区域の検証や今後の課題をどう捉えるか」との議員の質問もあり、土木部長は「浸水区域が作成されているにもかかわらず、河川でも堤防が決壊した。これら河川については、来年度末までに作成する」と答弁した。また「県と市町村は、備蓄計画のプランニングから費用負担まで、本格的な連携が求められる」との議員の意見に、総務部長は「県と市町村が結んでいる協定に基き、平時から各市町村と備蓄状況の情報を共有している」と答えた。

議長記者会見

2月定例会閉会日の3月17日、石川光次郎議長が記者会見を行った。2月定例会を振り返って石川議長は「東日本大震災から9年が経過し、7度目の『みやぎ鎮魂の日』を迎えた。今年は新型コロナウイルスの感染拡大により、各市町で追悼式が中止となるなど多大な影響が及んでいるが、鎮魂の思いにささかま変わりはない。県議会として、被災地を抱える課題の解決や、震災からの復興の完遂に向けた取り組みを加速させていく決意を新たにしたい」と語った。さらに「今定例会では、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート
県議会では、年4回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
◇次回コンサートの開催予定
・日時/6月15日(月)午後0時15分~45分
・場所/県議会庁舎1階ラウンジ
・出演/ジュンコとサチコ(フルート・ピアノ演奏)
●傍聴のご案内
本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。

予算特別委員会

2月13日、委員9人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、2月14日に、国の経済対策等に関する補正予算として、令和元年度宮城県一般会計補正予算を可決した。また、3月4日と5日の両日、委員13人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、令和2年度宮城県一般会計予算及び令和元年度宮城県一般会計補正予算等を可決した。新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策に伴う補正予算については、3月17日に、総務企画分科会、環境福祉分科会、文教警察分科会での審査を経て、令和元年度宮城県一般会計補正予算を可決している。2月13日質疑者 八島利美、村上智行(自民)、ゆきみき(自民の会)、金田もと(共産)、横山のぼる(公明)、岸田清実(社民)、菅間進(無所属の会)、吉川寛康(21世紀)、高橋啓(緑風会) 3月4日~5日質疑者 佐々木賢

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、2月上旬から3月中旬にかけて延べ3日間、被災市町で調査を行った。復旧・復興の進捗状況を確認しながら、市町議会議員との意見交換などを通じ、県震災復興計画の「発展期」の中間年度として、浮き彫りになった諸課題への認識を共有した。東松島市防災備蓄倉庫を視察する特別委員会の委員たち

常任委員会

今定例会での主な審査議案は次のとおり。
○総務企画委員会 審査議案 県行政に係る基本的な計画の変更について(宮城県地方創生総合戦略)など16議案及び諮問1件並びに請願1件
○環境福祉委員会 審査議案 無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例など18議案
○経済商工観光委員会 審査議案

職能力開発校条例の一部を改正する条例など4議案

○農林水産委員会 審査議案 工事請負契約の締結について(気仙沼漁港防潮堤等新築工事)など10議案
○建設企業委員会 審査議案 工事請負契約の締結について(一般国道398号東内海橋等災害復旧工事)など27議案
○文教警察委員会 審査議案 公安委員会関係手数料条例の一部を改正する条例など3議案及び請願2件

宮城県議会 検索

●議会中継のご案内
スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけます。アクセスはこちらから

「みやぎ県議会だより」へのご意見・感想をお寄せください
宮城県議会事務局 政務調査課
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL022(211)3592 FAX022(211)3598
Eメール gtvyos@pref.miyagi.lg.jp